

**タモロコ**（コイ科）

**学名**： *Gnathopogon elongatus elongatus*

**別名**：モロコ

**大きさ**：全長 10 cm

**特徴**：体側に1本の黒色縦帯をもち、尾びれの基底には1個の黒点様の模様をもつ。口の開口方向は水平ないしやや下向き。うろこは比較的粗い。大きさや体型などが類似するモツゴとは、口ひげの有無（タモロコには1対の口ひげがある）、口の開く向き（モツゴは上向き）などで区別は容易。

産卵期は4～7月で、水草などに卵を産み付ける。

**国内の分布**：関東以西の本州，四国の愛媛県と高知県が自然分布域と考えられている。東北地方や九州にも現在は分布しているが、それは移殖によるもの。

**県内の分布**：霞ヶ浦水系や利根川水系，那珂川水系，久慈川水系，県北地域の各河川など，県内各地の湖沼や河川に分布。ただし，圃場整備などにもなう生息場の改変が行われた場所では，生息数が少なくなる傾向にあるようである。

**県内の生態**：霞ヶ浦では湖岸付近，湖周辺の水路に分布している。

**備考**：霞ヶ浦周辺では，佃煮に加工されるなど産業的な利用がされている。

**主な文献**：

霞ヶ浦情報センター研究委員会編（1994）霞ヶ浦の魚たち．霞ヶ浦情報センター，阿見町．167 pp.